

# 伝統ある市のシンボル

## 千葉ポートタワー

千葉ポートタワーを迎える。日本で一番は、千葉市中央区の千葉港に隣接するガラスであり、ポートタワー

タワー。内部は1階が観光情報センター、地上105階の2階は「恋人の聖地」と呼ばれるサンセットプロムナード、同109階の3階にはブッフェレストラン、さらに同113階の4階は展望台という観光スポットだ。

ポートタワーは1981年に千葉県民500万人突破を記念して着工、86年6月15日に開館し、今年で31年目

を迎える。日本では初めてだった。展望台からは千葉市街はもとより東京湾まで一望でき、夜景は日本夜景遺産にも登録されている。その中でも工場群の眺望は圧巻だ。千葉港は国内外の貿易に関わる非常に重要な港。私たちの生活が成り立つのは千葉港があるからこそだと実感させられる。また、

昨年には校外学習や定期イベントなどによる集客や広報活動が実り、来場者数が14万人を突破した。

統括マネージャーの斉藤久芳さんは、「隣接している千葉港は私達の生活と深く関わりがある。遠くの景色を見るのも合わせて、重要な役割を果たしていることを知ってもらいたい」と話した。

ポートタワーは、千葉県について多くのことを知るきっかけにもなる。来たことない方は、足を運んでみてほしい。



千葉市中央区中央港にある日本夜景遺産に認定されたポートタワー